

松山櫨便り

第6号

購読
無料

1日・15日発行・櫨に関する情報求ム!

福岡県久留米市田主丸町で活動中!
編集・発行 松山櫨復活委員会
幹事・矢野真由美

耳納山の片隅で失われてしまった櫨紅葉の景観を復活させることを目的に、櫨の素人がまったりとその様子を伝えていく会報です。

ブログ公開中「松山櫨復活奮闘日記」 <http://blog.goo.ne.jp/elster/>
連絡先 e-mail : elster@mail.goo.ne.jp ホームページ「松山櫨復活委員会」 近日公開予定



これが「伝・松山櫨」

「あの櫨の木は私が植えたんです。あれは松山櫨じゃありません。これだけは間違いありません。」
わざわざ4種類の櫨の実を採取したのに、全てハズレだったとは!
結局、松山櫨かもしれない櫨の実はたったの2種類。そのうち1種類はミイラになっていて判別不可能。最後に竹野に自生している櫨の実のみが松山櫨候補となりました

前号までのあらすじ

江戸時代に田主丸町森部で発見され、今はほとんど見ることのできない櫨の品種「松山櫨」

朝倉市にあった松山櫨

たった一箇所しか確認されていない『伝・松山櫨』。その在りかを尋ねると、池田さんは、『伝・松山櫨』の実を取り出しました。「朝倉市郊外の櫨の木だけが現在、松山櫨だと言われています。」
これこそ、本当の松山櫨なんではないか。

果たして持参した実は?

残念なことに、私が持参した宇佐市産の松山櫨と、『伝・松山櫨』や他の品種を丹念に比べていくと、どうやら宇佐市産松山櫨は葡萄櫨に一番近いことがわかりました。これ以上、この宇佐市産にはこだわらない方が良さそうです。さらに、池田さんは福岡県緑化センターの櫨の実と聞くと、

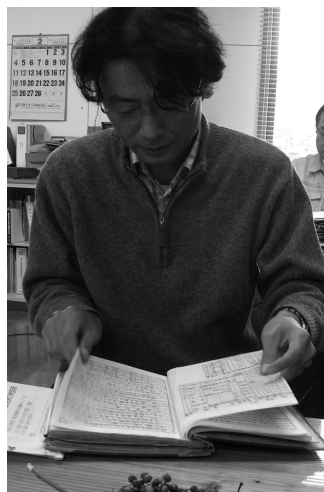
の復活のために、森林林業技術センターを訪れたところ、現在「松山櫨」が一ヶ所だけ存在しているという情報を聞きました。

「この実を複数の櫨蠟屋さんが「松山櫨」だと言えば、それは松山櫨と言ってもいいでしょう。」
なんと!
みんなが言えば松山櫨になる? しかし確かに経験豊かな櫨蠟屋さんの判断を積み重ねる事で、高い確率で「松山櫨」だと証明できます。そもそも100%の松山櫨が存在しない以上、真の

松山櫨に近づくには、この方法しかありません。
新たな展開です。この竹野の実を持って、筑後地域中の櫨蠟業の方々を訪ねて、松山櫨というお墨付きをもらうのです。
櫨蠟屋さんが今も現役なのは、福岡県で荒木製蠟だけですから、すでに廃業されている櫨蠟屋さんの所にも行く必要があります。
そこで、まず私は、うきは市吉井町の中川製蠟(現・中川石油)から訪ねることにしました。
続きは次号にて

松山櫨へのお墨付き

みんなが言えば松山櫨になる?



松山櫨の記述を探す池田さん

池田さんは、昭和の初めに記録された書類をめぐって松山櫨の記述を探してくれましたが、文章で細かい判別をするのは難しいことです。

た。竹野の実は外見上、非常に『伝・松山櫨』に似ています。
実のところ、朝倉市の松山櫨の状況が全く不明なので、すぐ
にそこへ飛びつく気にはなれません。できれば竹野の実が松山櫨であつてほしいけど、どうやって竹野の実が松山櫨だと証明できるのか。

※本会報を許可なく複製・転載すること、または部分的にもコピーすることを禁じます。